

「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究 (phase II)」情報公開文書

研究課題番号：2025-389

1. 研究の意義、目的

小児期の生活習慣は、思春期、青年期などのライフコースを経て、成人期の生活習慣に引き継がれます。肥満、高血圧、高脂血症、高血糖などの生活習慣病の病態は、小児期から潜在していて、成人期の脳卒中、虚血性心疾患などの病気の発症につながります。また、胎児期、幼少期における生活習慣や環境が、成人期における生活習慣病発症に直接影響を及ぼす可能性も示唆されています。しかしながら、具体的に小児期のどのような生活習慣や環境がその後の生活習慣病発症に関わるかは未だ明確ではありません。これを明らかにするには、人生の早い時期での生活習慣や環境の詳細な情報を得て、その後、成人期・高齢期に至るまで追跡し、生活習慣病の発症を確認するという研究が必要ですが、そのような長期にわたる研究は実施が困難のため行なわれていないのが現状です。

そこで本研究では、小学校1年の時期から生活習慣・環境を把握し、その後中学3年に至るまでの縦断的調査を行うことにより、どのような生活習慣や環境が、その後の小児の健康状態や生活習慣病のリスク要因に影響を及ぼすかを明らかにし、将来の生活習慣病予防に役立つ望ましい生活習慣を見出すことを目指しています。

2. 研究の方法

2011年から2025年にかけて、愛知県碧南市の小学生、中学生を対象に「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究 (研究課題番号 2024-389、研究代表者：和田恵子、研究機関：岐阜大学大学院医学系研究科、国立がん研究センター)」が実施され、以下のような情報と生体試料が収集されました。

- ① 2004～2008年度出生の小1、小4、中1、中3の調査データ (測定結果を含む) と生体試料
小1調査 (2011～2015年実施)：アンケート、身体測定、体力測定、尿
小4調査 (2014～2018年実施)：アンケート、健康診断、体力測定、尿、血液
中1調査 (2017～2021年実施)：アンケート、健康診断、体力測定、尿、血液
中3調査 (2019～2023年実施)：アンケート、身体測定
小2・3・5・6年時の身体測定
- ② 2019～2024年度の小4の調査データと生体試料：アンケート、健康診断、血液
- ③ 2022～2024年度の中1の調査データと生体試料：アンケート、健康診断、血液
- ④ 2025年度の小4・中1の調査データ：アンケート、健康診断

本研究は、研究課題番号 2024-389 の後続研究であり、上記のデータと生体試料の提供を受けて前研究と同様の目的で実施します。国立がん研究センターは提供された情報、試料、データの管理を、国立環境研究所は生体試料を用いた測定を担当し、取得したデータの解析は両機関で実

施します。

【研究実施期間】 研究許可日～2036年03月31日

【観察及び検査項目】

アンケート調査：児の発育、家族構成、既往、健康状態（アレルギー、行動発達など）、生活リズム（食事時間、睡眠時間など）、運動習慣、食習慣、携帯、パーソナルケア製品、日焼け止めなどの使用など。家族の病歴、同居者の喫煙環境、父、母の学歴、体格など。

健康診断結果：生年月日、身長、体重、腹囲、血圧、血清総コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪、血糖、血球（赤血球、ヘモグロビン、白血球、血小板等）など。

保存生体試料（測定候補項目）：環境への暴露や食品の摂取などから体内に吸収される微量元素やビタミン、イソフラボン、ニコチンなどの指標や、ホルモン状態、酸化状態、免疫状態、生活リズムなどを反映するマーカー

【主要評価項目】

肥満、血圧高値、脂質異常、血糖高値、思春期兆候など

【副次的評価項目】

アレルギー、行動発達、自己肯定感、炎症、酸化マーカー、生活習慣の変化など

（解析）

ベースライン時あるいは追跡時の生活習慣の情報とその後の学童の健康状態、生活習慣病のリスクマーカー値との関連を計算することで、どのような生活習慣が健康影響を及ぼすかを評価します。

3. 情報の取り扱いおよび倫理について

使用する試料・情報は、研究課題番号 2024-389「学童における生活習慣と健康に関する前向き研究」で収集済みの既存試料・情報であって、研究利用の拒否の申し出がされていないものを利用します。この研究は、2024年までは岐阜大学大学院医学系研究科の単独研究、2025年は岐阜大学大学院医学系研究科と国立がん研究センターがん対策研究所の共同研究として同意を得ています。また、将来、同種の研究目的で情報を活用する可能性があることが文書で説明されています。

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針及び適用される法令等に従っています。本研究で取り扱う試料・情報は、個人が特定されないように加工した上で、研究・解析に使用します。本研究の成果を学会発表及び論文発表する際には、研究対象者が特定できる情報は一切使用しません。個人情報等（生年月日等）は、研究責任者が厳重に管理します。研究終了後には、個人を識別できる情報を取り除いた上で廃棄します。

この調査への参加は対象者本人と保護者様の自由意志によります。これまで調査に参加された方でも、途中で研究への参加を取りやめることが出来ます。研究事務局までご連絡下さい。

4. 研究に関する情報の公開

この研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

- ・ 国立がん研究センターが参加する研究に関する公開情報

https://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/zisshi.html

尚、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書や研究の内容に関する資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は研究事務局までご連絡下さい。

5. 研究の実施体制

【研究代表者】

国立がん研究センターがん対策研究所 予防研究部 予防評価研究室長 和田 恵子

【研究事務局】

国立がん研究センターがん対策研究所 予防研究部 予防評価研究室長 和田 恵子

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

Tel : 03-3547-5201 (3332)

【研究機関】

国立がん研究センター	がん対策研究所 予防研究部	和田 恵子（研究責任者）
	がん対策研究所 予防研究部	井上 真奈美
	がん対策研究所 コホート研究部	澤田 典絵
	がん対策研究所 予防研究部	田中 詩織
	がん対策研究所 予防研究部	平林 万葉
	がん対策研究所 予防研究部	谷爲 茉里奈
	がん対策研究所 予防研究部	大槻 曜生
国立環境研究所	環境リスク・健康領域	中山 祥嗣（研究責任者）
	環境リスク・健康領域	磯部 友彦

【試料・情報の管理責任者】

国立がん研究センターがん対策研究所 予防研究部 予防評価研究室長 和田 恵子

6. 相談窓口

この研究についてわからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気に下記の連絡先までお問い合わせください。

(相談窓口)

国立がん研究センターがん対策研究所 予防研究部

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

Tel : 03-3547-5201 (3332)

和田恵子